

2-2. ネットワーク稼動前における碧南市における高齢者排泄管理の実態調査

碧南市地域モデル作成・稼動前の高齢者排泄管理の現状を把握するために、碧南市における実態調査を行い、結果は本報告書の分担報告書（岡村）で別に報告した。

2-3. 排泄管理専門コメディカルの養成

排泄管理地域モデルにおいて、実質的な排泄リハビリテーションを実行するためには、現場での適切な排泄管理の実施や教育・啓蒙など、地域の排泄管理において重要な役割を担うべき、排泄に関する専門知識と技術を有する専門コメディカルが必要となる。この排泄管理に関して専門的な知識と技術を有する専門コメディカルを碧南市地域モデルにおいて確保するため、名古屋大学排泄情報センターにおいて平成 16 年度より行っている排泄機能指導士の養成プログラムに、碧南市民病院看護師 3 名、碧南市在宅看護ステーション看護師 1 名、さらに市内訪問看護師 1 名を排泄機能指導士養成プログラムに参加させた。

2-4. 老人施設における排泄管理のための組織の立ち上げと教育

碧南市内の老人施設（特別養護老人ホーム 2 施設、老人保健施設 1 施設）において、排泄に関する施設内専門組織としての排泄委員会を立ち上げ、名古屋大学排泄情報センターからの講師派遣（後藤）により平成 16 年度厚生労働省補助金長寿科学総合研究（主任：岡村菊夫、H16-長寿-008）「高齢者排尿障害に対する患者・介護者、看護師向きの排泄ケアガイ

ドライン作成、一般内科向きの評価基準・治療効果判定基準の確立、普及と高度先駆的治療法の開発」にて作成した高齢者排泄ケアマニュアル（付録 2）を用いて、各老人施設の職員に排泄管理の教育を行うとともに、排泄委員会において、定期的な事例検討などを行い、各施設における排泄管理スキルの獲得を進めた。排泄状態のアセスメントに必須である残尿測定については、コメディカルでも容易に操作できる超音波残尿測定装置（シスメック社 BVL 5000：図 14、タケシバ電気社ユリリン：図 15）を用いて、指導・実施した。

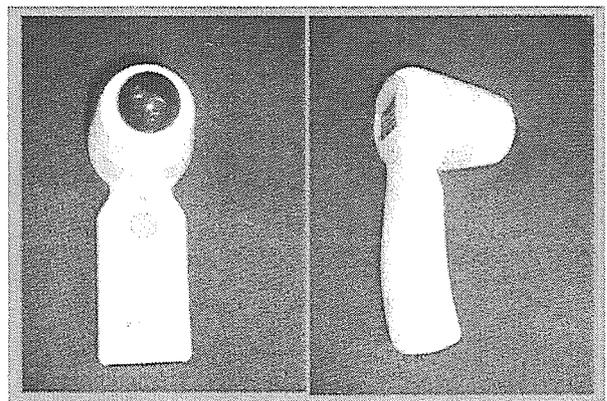


図 14 超音波残尿測定装置（シスメック社 BVL5000）

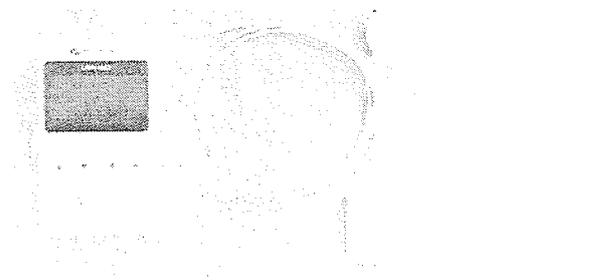


図 15 超音波膀胱容量測定装置：ゆりりん（タケシバ電気社）

D. 考察

今回の研究 1（尿失禁が介護者の介護負担度・QOL に及ぼす影響に関する研究）

により、尿失禁が高齢者本人の生活や QOL を障害するのみでなく、家族介護者の介護負担度を増大し、QOL を障害することが明らかとなった。高齢者の介護においては、介護者の介護負担増大や QOL の障害は、被介護高齢者の介護の質の低下につながる可能性があり、ひいては寝たきりや認知症の発生や増悪につながることも予測される。適切で効果的な排泄管理は、逆に被介護高齢者の QOL の改善のみならず、介護者の介護負担軽減や QOL の改善により、介護状況の改善、介護の質の改善をもたらすことが期待される。適切な排泄管理の標準指針の提示、地域におけるネットワーク構築などの有効な排泄リハビリテーション実行のための基盤整備が重要と考えられる。

本研究 2（碧南市における排泄管理モデルの構築にむけた基盤整備）では、碧南市において、碧南市在宅看護センターを中心として、老人施設、病院、医師会（非泌尿器科開業医、泌尿器科開業医）、介護事業所を含む排泄管理のためのネットワークシステム案を作成した。また、実際に適切な排泄管理を行うためには、単にシステムやネットワークを作成するのみではなく、マニュアル・ガイドラインの整備、啓蒙・教育、さらには実際に現場で排泄管理を行う際の情報と必要な知識と技術を有する専門職の養成が重要となる。本年度の活動では、碧南市内の老人施設で排泄委員会を立ち上げるとともに、平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業：岡村班）において作成した高齢者排泄ケアマニュアルを用いて、定期的な事例検討会など

を含む啓蒙・教育を行うことにより、各施設での排泄管理に必要なアセスメント能力、対処能力の向上が得られ、今後の排泄管理改善についての基盤が確立されつつある。また、排泄管理についての知識と技術を有する専門コメディカルについては、名古屋大学排泄情報センターにて行っている排泄機能指導士養成事業を利用して、5 名の排泄機能指導士を確保することができ、次年度の活動において有用な人材の育成を行いつつある。

E. 結論

尿失禁が高齢者本人の生活や QOL を障害するのみでなく、家族介護者の介護負担度を増大し、QOL を障害することが明らかとなり、適切な排尿管理は排尿障害を有する高齢者の QOL 障害・ADL 低下・寝たきりを防止するのみでなく、介護者の介護負担度を軽減し介護の質の向上に寄与することが示唆された。碧南市における排泄管理地域モデル開発のためのネットワーク試案を作成し、さらに老人施設における排泄管理のための組織（排泄委員会）の立ち上げ、高齢者排泄ケアマニュアルを用いた排泄管理の指針の提示、啓蒙・教育、排泄管理専門コメディカル（排泄機能指導士）の養成により、今後、排泄管理地域モデルを稼働させるための基盤を作成できた。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. Gotoh M, Yoshikawa Y, Matsukawa H: Impact of urinary incontinence on

- psychological burden of family caregivers. 35th annual meeting of International Continence Society, in Montreal, 8/31, 2005
2. Yoshikawa Y, Gotoh M, Matsukawa Y: Impact of urinary incontinence on the quality of life of family caregivers. 35th annual meeting of International Continence Society, in Montreal, 9/1, 2005
 3. 後藤百万、吉川羊子：有尿失禁者の家族介護者における介護負担度の検討。第15回日本排尿機能学会、10/7、2005

H. 参考文献

- [1] Arai Y, Kudo K, Hosokawa T, Washio M, Miura H, Hasamichi S: Reliability and validity of the Japanese version of the Zarit Caregiver Burden Interview. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 51:281-287, 1997
- [2] 本間之夫、安藤高志、吉田正貴、武井実根雄、後藤百万、大川麻子、影山慎二、福原俊一、尿失禁 QOL 質問票日本語版の妥当性の検討、*日本神経因性膀胱学会誌*、12:227-231、2002

I. 知的財産権の出願・登録状況

なし

付録 1

排尿トラブルに対する介護者意識調査

I. 介護状況についてお教え下さい。 <1200名全介護患者>

Q1.あなたの気持ちに最も当てはまると思うものをお教え下さい。(全設問単数回答)

Zarit 介護負担尺度	0. 思わない	1. たまに思う	2. 時々思う	3. よく思う	4. いつも思う
1. 介護を受けている方は、必要以上に世話を求めてくると思いますか？	<input type="radio"/>				
2. 介護のために自分の時間が十分に取れないと思いますか？	<input type="radio"/>				
3. 介護のほかに、家事や仕事などもこなしていかなければならず「ストレスだな」と思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
4. 介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
5. 介護を受けている方のそばにいと腹が立つことがありますか？	<input type="radio"/>				
6. 介護があるので家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか？	<input type="radio"/>				
7. 介護を受けている方が将来どうなるのか不安になることがありますか？	<input type="radio"/>				
8. 介護を受けている方は、あなたに頼っていると思いますか？	<input type="radio"/>				
9. 介護を受けている方の側にいと気が休まらないと思いますか？	<input type="radio"/>				
10. 介護のために、体調を崩したと思ったことがありますか？	<input type="radio"/>				
11. 介護があるので、自分のプライバシーを保つことができないと思いますか？	<input type="radio"/>				
12. 介護があるので自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
13. 介護を受けている方が家にいるので友達を自宅によびたくてもよべないと思ったことがありますか？	<input type="radio"/>				
14. 介護を受けている方は、「あなただけが頼り」というふうにみえますか？	<input type="radio"/>				
15. いまの暮らしを考えれば、介護にかかる金銭的な余裕がないと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
16. 介護にこれ以上の時間は避けないと考えることがありますか？	<input type="radio"/>				
17. 介護が始まって以来、自分の思い通りの生活ができなくなったと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
18. 介護を誰かに任せてしまいたいと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
19. 介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
20. 自分は今以上にもっと頑張って介護するべきだと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				
21. 本当は自分をもっとうまく介護できるのになあと思うことがありますか？	<input type="radio"/>				

<p>22.全体を通してみると、介護をするということはどうくらい自分の負担になっていると思いますか？</p>	<p>○ 全く負担ではない → 多少負担に思う N 世間並みの負担だと思う ◎ かなり負担だと思う ▲ 非常に大きな負担である</p>
--	---

次へ
ボタン

Q2. 現在、介護にかかっている総費用負担額（診断、治療、介護、ケア商品等）についてお教え下さい。（単数回答）
 （自己負担分）

1.1ヶ月に1万円くらい	2.1ヶ月に2-3万円くらい	3.1ヶ月5万円くらい	4.1ヶ月7-8万円くらい
5.1ヶ月に10万円くらい	6.1ヶ月に15万円くらい	7.1ヶ月に20万円くらい	8.1ヶ月に25万円以上

Q3. 現在、あなたの介護生活における経済負担についてお教えください。

1. かなり重い	2. やや重い	3. 受容できる	4. やや軽い	5. 非常に軽い
----------	---------	----------	---------	----------

Q4. あなたは介護を受けている方のために情報収集活動をおこなっていますか？（単数回答）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q4. はい、と回答された方にはお教えします。

SQ1. 情報入手先として利用頻度が多いものは何ですか？（複数回答）

1. 家族、知人、友人	2. 市民講座・フォーラム・セミナー	3. 医師	4. 看護師	5. 薬剤師	6. 患者の会の集いの中で
7. インターネット情報（疾患について一般）	8. 製薬会社のインターネット情報	9. テレビの情報	10. 雑誌の記事	11. 新聞	12. 患者用小冊子

13. その他（ ）

Q5. あなたの介護生活の経過についてお教え下さい。（単数回答）

	介護における生活活動及び質について
①現在の介護生活がこのまま変わらず続けるとしたら？	1. いやだ 2. やや不満 3. なんとも言えない 4. ほぼ満足 5. 満足

Q6.介護を受けている方は尿もれがありますか？（単数回答）

1. はい（→IIへ）	2. いいえ（→VIへ）
-------------	--------------



II. 排尿トラブルの介護経験についてお伺い致します。 <600名尿失禁介護患者のみ>

Q1. 排尿の問題における介護であなたの生活面での悩みについて下記項目について当てはまるものをお教え下さい。

項目	キング健康調査票	
健康について	あなたの今の全般的な健康状態はいかがですか？	1. とても良い、 2. 良い、 3. 良いも悪くもない、 4. 悪い 5. とても悪い
生活影響度	排尿介助のために、生活にどれくらい影響がありますか？	1. 全くない、 2. 少し、 3. 中くらい、 4. とても、
家事制限	排尿介助のため家事がうまく計画通り一日で終わらないことがある	1. 全くない、 2. 少し、 3. 中くらい、 4. とても、
仕事制限	排尿介助の時間を作るため仕事に支障が出たり、家を空けられないことがある	
身体的制限	介護を受けている方がいるため、バス、電車、車を利用しなくなった	
身体的制限	介護を受けている方がいるため、家族旅行をしなくなった	
社会活動制限	排尿介助のため友人とのつきあいがなくなった	
社会活動制限	排尿介助のため、趣味の時間がもてなくなった	
個人的人間関係	介護を受けている方と気まずい気持ちになることがある	
個人的人間関係	排尿介助のために家族関係がうまくいかなかった	
個人的人間関係	排尿介助のために家族以外の人との関係がうまくいかなかった	
睡眠の制限	排尿介助のため睡眠に影響がある	
活力の衰退	排尿介助のため疲れを感じることもある	
心の問題	排尿介助のために気分が落ち込むことがある	
心の問題	排尿介助のために不安を感じたり、神経質になることがある	

心の問題	排尿介助のために情けなくなることがある	
------	---------------------	--

Q2.在宅における排尿トラブル治療で取り組んでいるものはありますか？（複数回答）

治療項目	説明	チェック
1.時間排尿誘導	一定時間毎に排尿を誘導する	<input type="checkbox"/>
2.トイレ環境の整備	S字の支え棒や介助できる広さなど環境を整備する、ポータブルトイレや採尿器（しぶん）を使う、など	<input type="checkbox"/>
3.着衣の工夫	すばやく脱いで用が済ませる衣服を作成する	<input type="checkbox"/>
4.骨盤底筋体操	膀胱の出口にある尿道をしめる筋肉を鍛え、尿もれを予防する	<input type="checkbox"/>
5.膀胱訓練	尿意を感じても我慢する時間を少しずつ伸ばす	<input type="checkbox"/>
6.排尿姿勢の工夫	排尿しやすくするため、仰向きではなく座ってする	<input type="checkbox"/>
7 特に行っていない		<input type="checkbox"/>

III.排尿トラブル患者の中でオムツ、カテーテル、薬物治療についてお伺い致します。

Q1. 介護を受けている方の排尿の状況で当てはまるものをお教え下さい。（複数回答）

排尿状況	チェック
1. トイレ（ポータブル）にて自分あるいは介助で用が済ませる	<input type="checkbox"/>
2. オムツ・尿とりパッドを利用している	<input type="checkbox"/>
3. 留置カテーテルを使用している	<input type="checkbox"/>
4. 清潔間欠導尿を使用している	<input type="checkbox"/>

III-a. 「オムツ」の使用経験についてお伺いいたします。

Q1.現在介護を受けている方が、使用されているのは次のどちらになりますか？（単数回答）

1. オムツ	2.尿とりパッド	3. 両者併用
--------	----------	---------

Q2.使用されるきっかけとなったのは次のどれになりますか？（単数回答）

1.医師の勧めで	2.施設から退院したらして いた	3.本人の意思で	4.家族のすすめ で	5.その他（ ）
----------	---------------------	----------	---------------	----------

Q3. 「オムツ」・「尿とりパッド」をどのくらいの頻度で使用されますか（単数回答）

1.常に使用	2. 夜のみ使用	3. 通常症状はないがもれの心配のため使用
--------	----------	-----------------------

Q4. 「オムツ」・「尿とりパッド」をしてから介護を受けている方は、かぶれを患っていますか？（単数回答）

1.はい	2.いいえ
------	-------

チェックでそれぞれの項目を出していく

Q4. 「はい」と回答された方にお伺い致します。

SQ1. どのくらいの頻度で患っていますか？（単数回答）

1. 常に	2. 月に1～数回	3. 3ヶ月に数回	4. 半年に数回	5. 年に数回	6. その他
-------	-----------	-----------	----------	---------	--------

Q4. 「オムツ」「尿とりパッド」に対する認識であなたの認識と最も近いものをお選び下さい。（単数回答）

1. 介護負担を軽減	2. 何とも思わない	3. できればはずしてあげたい	4. しかたのないもの	5. 介護負担の増加
------------	------------	-----------------	-------------	------------

Q5. 「オムツ」「尿とりパッド」を使用してからの期間をお教え下さい。（単数回答）

1. 1～1ヶ月未満	2. 2～3ヶ月未満	3. 3～6ヶ月未満	4. 1～1年未満	5. 3～3年未満	6. 3年以上
------------	------------	------------	-----------	-----------	---------

Q6. 「オムツ」「尿とりパッド」を使用してからどのように介護生活が変わりましたか？

介護を受けている方の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護にかかる経済負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護を行う家族の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した

III-b. 「留置カテーテル」と回答された方にお伺いいたします。

Q1. 「留置カテーテル」をしてから介護を受けている方は膀胱炎などの感染症を患っていますか？（単数回答）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q1. 「はい」と回答された方にお伺い致します。

SQ1. どのくらいの頻度で患っていますか？（単数回答）

1. 常に	2. 月に1～数回	3. 3ヶ月に数回	4. 半年に数回	5. 年に数回	6. その他
-------	-----------	-----------	----------	---------	--------

Q2. 「留置カテーテル」に対する認識であなたの認識と最も近いものをお選び下さい。（単数回答）

1. 介護負担を軽減	2. 何とも思わない	3. できればはずしてあげたい	4. しかたのないもの	5. 介護負担の増加
------------	------------	-----------------	-------------	------------

Q3. 「留置カテーテル」を使用してから期間をお教え下さい。(単数回答)

1. 1ヶ月未満	2. 2～3ヶ月未満	3. 3～6ヶ月未満	4. 1～1年未満	5. 3～5年未満	6. 3年以上
----------	------------	------------	-----------	-----------	---------

Q4. 「留置カテーテル」を受けてからどのように介護生活が変わりましたか？

介護を受けている方の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護にかかる経済負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護を行う家族の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した

III-c. 「清潔間欠導尿」と回答された方にお伺いいたします。

Q1. 「清潔間欠導尿」してから介護を受けている方は膀胱炎などの感染症を患っていますか？(単数回答)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q1. 「はい」と回答された方にお伺いいたします。

SQ1. どのくらいの頻度で患っていますか？(単数回答)

1. 常に	2. 月に1～数回	3. 3ヶ月に数回	4. 半年に数回	5. 年に数回	6. その他
-------	-----------	-----------	----------	---------	--------

Q2. 「清潔間欠導尿」に対する認識であなたの認識と最も近いものをお選び下さい。(単数回答)

1. 介護負担を軽減	2. 何とも思わない	3. できればはずしてあげたい	4. しかたのないもの	5. 介護負担の増加
------------	------------	-----------------	-------------	------------

Q3. 「清潔間欠導尿」を使用してから期間をお教え下さい。(単数回答)

1. 1ヶ月未満	2. 2～3ヶ月未満	3. 3～6ヶ月未満	4. 1～1年未満	5. 3～5年未満	6. 3年以上
----------	------------	------------	-----------	-----------	---------

Q4. 「清潔間欠導尿」を受けてからどのように介護生活が変わりましたか？

介護を受けている方の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護にかかる経済負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した

介護を行う家族の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
--------------	---------	-----------	-------	-----------	---------

IV. 排尿トラブルによる通院及び訪問診療状況についてお教え下さい。 (全員回答)

Q1. 介護を受けている方の医療機関への受診経験はどちらにあてはまりますか？ (単数回答)

1. 現在受診している (IV-a)	2. 過去、通院していたが現在は受診していない (IV-b)	3. 一度も受診経験なし (IV-c)
--------------------	--------------------------------	---------------------

チェックでそれぞれの項目をスイッチさせて表出。

IV-a <現在受診>

Q1. 介護を受けている方が受診している医療機関についてお教え下さい。 (単数回答)

1. 大学病院	2. 総合病院	3. 診療所・クリニック
---------	---------	--------------

Q2. 受診している診療科を教えてください。 (単数回答)

1. 一般内科	2. 泌尿器科	3. 産婦人科	4. その他 ()
---------	---------	---------	------------

Q3. 介護を受けている方が排尿トラブルの症状で通院される際、医師の診察に同席していますか？ (単数回答)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q3 「はい」と回答された方にお伺い致します。

SQ1. 介護を受けている方の診察に同席されるきっかけとなった要因をお教え下さい。 (単数回答)

1. 医師から一緒に通院するよう促されたから	▼
2. 患者から同席するよう頼まれたから	
3. 患者の症状について医師と話し合いたかったから	
4. とても一人で行かせられない、心配だから	
5. その他 (具体的に)	

Q3 「はい」と回答された方にお伺い致します。

SQ2. 介護を受けている方が受診した際、どのような説明を受け、それへの満足度をお教え下さい。 (全設問単数回答)

説明があった項目	説明ありましたか	満足・不満
1. 排尿の症状や今後の経過	1. はい 2. いいえ	1. 満足 2. 不満
2. 治療期間について	1. はい 2. いいえ	1. 満足 2. 不満
3. 薬剤の効果に関する説明	1. はい 2. いいえ	1. 満足 2. 不満
4. 薬剤の服薬指導について (副作用説明など)	1. はい 2. いいえ	1. 満足 2. 不満

5.生活指導について (飲水、香辛料、アルコールなど)	1.はい 2.いいえ	1.満足 2.不満
--------------------------------	------------	-----------

S Q3. 介護を受けている方への服薬指導および生活指導について、その後をお教え下さい。(単数回答)

1. 服薬指導は?	1.守っている	2.守らない
2. 生活指導は?	1.守っている	2.守らない

Q4. 医師からどのような病名で診断されましたか? (複数回答)

1.神経因性膀胱	2.過活動膀胱	3.前立腺肥大症	4.腹圧性尿失禁	5.切迫性尿失禁
6.混合性尿失禁	7.心因性によるもの	8.膀胱炎、前立腺炎	9.老化にともなう生理的なもの	10.特に病名はなかった
11.わからない	12.その他(具体的に)			

Q5. 医師から排尿トラブルの治療のためどのような薬剤を処方されましたか? (複数回答)

1.バップフォー	2.ブラダロン	3.ポラキス	4.スピロペン ト	5.漢方薬	6.わからない	7.何も処方されなかった	8.その他 ()
----------	---------	--------	--------------	-------	---------	--------------	--------------

Q6. 介護を受けている方は排尿トラブルの治療をどのくらいの期間受けていますか? (単数回答)

1.~1ヶ月未満	2.~3ヶ月未満	3.~6ヶ月未満	4.~1年未満	5.~3年未満	6.3年以上
----------	----------	----------	---------	---------	--------

Q7.薬物治療を受けてからどのように介護生活が変わりましたか?

介護を受けている方の生活状態	1.悪化した	2.やや悪化した	3.不変	4.やや改善した	5.改善した
介護負担	1.悪化した	2.やや悪化した	3.不変	4.やや改善した	5.改善した
介護にかかる経済負担	1.悪化した	2.やや悪化した	3.不変	4.やや改善した	5.改善した
介護を行う家族の生活状態	1.悪化した	2.やや悪化した	3.不変	4.やや改善した	5.改善した

Q8. 「薬物治療」に対する認識であなたの認識と最も近いものを選び下さい。(単数回答)

1. 介護負担を軽減	2. 何とも思わない	3. できればやめさせたい	4. しかたのないもの
------------	------------	---------------	-------------

IV-b.<過去に通院していて現在受診していない方>

Q1. 通院を中止したのはなぜですか？(複数回答)

(社会)	1.治療において熱心に対応してくれない・軽視した	(性格)	7.介護を受けている方が激しく抵抗し困難だから
(社会)	2.医療機関に不信を覚えたから	(性格)	8.介護を受けている方が恥ずかしがるから
(通念)	3.通院するほど、深刻な病気でないから	(経済)	9.医療費の負担が心配だから
(通念)	4.年相応の症状だから	(症状)	10.症状が軽くなったから
(都合)	5.ついていく時間がなくなったから	(症状)	11.症状が悪化したから
(都合)	6.交通手段を持ち合わせてないから	(症状)	12.症状が改善しなかったから

13.その他

Q2. 介護を受けている方が受診された医療機関についてお教え下さい。(単数回答)

1.大学病院	2.総合病院	3.診療所・クリニック
--------	--------	-------------

Q3. 受診された診療科を教えてください。(単数回答)

1. 一般内科	2. 泌尿器科	3.産婦人科	4.その他 ()
---------	---------	--------	-----------

Q4. 介護を受けている方が排尿トラブルの症状で通院された際、医師の診察に同席されましたか？(単数回答)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q4. (はいと回答された方のみ)

SQ1. 介護を受けている方の診察に同席されたきっかけをお教え下さい。(単数回答)

1.医師から一緒に通院するよう促されたから	▼
2.介護を受けている方からの同席するよう頼まれたから	
3.介護を受けている方の症状について医師と話し合いたかったから	
4.とても一人で行かせられなかった、心配だから	
5.その他(具体的に)	

Q4. (はいと回答された方のみ)

SQ2. 介護を受けている方が受診した際、どのような説明を受け、それへの満足度を覚えている限りお教え下さい。

(全設問単数回答)

説明があった項目	説明有りましたか	満足・不満
1. 排尿の症状や今後の経過	1. はい 2. いいえ 3. 分からない	1. 満足 2. 不満
2. 治療期間について	1. はい 2. いいえ 3. 分からない	1. 満足 2. 不満
3. 薬剤の効果に関する説明	1. はい 2. いいえ 3. 分からない	1. 満足 2. 不満
4. 薬剤の服薬指導について (副作用説明など)	1. はい 2. いいえ 3. 分からない	1. 満足 2. 不満
5. 生活指導について (飲水、香辛料、アルコールなど)	1. はい 2. いいえ 3. 分からない	1. 満足 2. 不満

S Q3. 介護を受けている方への服薬指導および生活指導について、その後をお教え下さい。(単数回答)

1. 服薬指導は?	1. 守った	2. 守らなかった
2. 生活指導は?	1. 守った	2. 守らなかった

Q5. 薬物治療を受けてからどのように介護生活が変わりましたか?

介護を受けている方の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護にかかる経済負担	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した
介護を行う家族の生活状態	1. 悪化した	2. やや悪化した	3. 不変	4. やや改善した	5. 改善した

Q6. 介護を受けている方は排尿トラブルの治療をどのくらいの期間受けられましたか? (単数回答)

1. ~1ヶ月未満	2. ~3ヶ月未満	3. ~6ヶ月未満	4. ~1年未満	5. ~3年未満	6. 3年以上
-----------	-----------	-----------	----------	----------	---------

Q7. 「薬物治療」に対する認識であなたの認識と最も近いものをお選び下さい。(単数回答)

1. 介護負担を軽減	2. 何とも思わない	3. できればやめさせたい	4. しかたのないもの
------------	------------	---------------	-------------

IV-c. <一度も受信していない方>

Q1. 通院をしないのはなぜですか? (複数回答)

(社会)	1. 医療機関では取り上げてもらえないと思ったから	(性 格)	7. 介護を受けている方が激しく抵抗し困難だから
(通念)	2. 通院するほど、深刻な病気でないか	(性 格)	8. 介護を受けている方が恥ずかしがるから

	ら	格)	
(通念)	3.年相応の症状だから	(経 済)	9.医療費の負担が心配だから
(都合)	4.ついていく時間がなくなったから		10.その他 ()
(都合)	5.交通手段を持ち合わせてないから		

IV. 現在の医療負担についてお伺いいたします。

V. 現在の医療負担についてお伺いいたします。

Q1. 現在、排尿トラブルにかかっている総費用負担額（診断、治療、介護、ケア商品等）についてお教え下さい。（単数回答）
（自己負担分）

1.1ヶ月に100円まで	2.1ヶ月に500円まで	3.1ヶ月に1千円くらい	4.1ヶ月に2,3千円くらい
5.1ヶ月に5千円くらい	6.1ヶ月に1万円くらい	7.1ヶ月に2,3万円くらい	8.1ヶ月に5万円以上

Q2. 介護を受けている方の排尿症状がよくなる薬があったとして、それで治療を受ける場合をお考え下さい。

支払うお金としてはいくらくらいまでなら払ってもよいと思いますか？（自己負担分）（単数回答）

1.1ヶ月に100円まで	2.1ヶ月に500円まで	3.1ヶ月に1千円くらい	4.1ヶ月に2,3千円くらい
5.1ヶ月に5千円くらい	6.1ヶ月に1万円くらい	7.1ヶ月に2,3万円くらい	8.1ヶ月に5万円以上

Q3. 排尿トラブルの介護において製薬メーカーへのご意見、ご感想などを自由にお書き下さい。

()

切替

VI. あなたについてお教え下さい。

F1. あなたの性別をお教え下さい。（単数回答）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F2. あなたの年齢をお教え下さい。（単数回答）

1. 39歳以下	2. 40-49歳	3. 50-59歳	4. 60-69歳	5. 70-79歳	6. 80-89歳	5. 90歳以上
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------

F3. 介護を受けている方の年齢をお教え下さい。（単数回答）

1. 39歳以下	2. 40-49歳	3. 50-59歳	4. 60-69歳	5. 70-79歳	6. 80-89歳	5. 90歳以上
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------

F4. あなたは誰を介護されていますか？（単数回答）

1. 父	2. 義父	3. 母	4. 義母	5. 祖父
6. 祖母	7. 息子	8. 娘	9. 妻	10. 夫

F5. あなたと介護を受けている方との生活状況をお教え下さい。（単数回答）

1. 2人暮らし	2. 2世代世帯同居	3. 3世代世帯同居	4. 介護を受けている方は別居	5. 其の他 ()
----------	------------	------------	-----------------	---------------

F6. 介護歴は何年になりますか？

() 年

F7. 介護を受けている方は介護保険の認定を受けていますか？（単数回答）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

F8. 介護を受けている方の状態について○で一つお選び下さい。

介護度	心身状態のめやす	チェック
1. 要支援 (社会的支援を要する状態)	a. 排泄や食事はだいたい一人ででき、立ち上りや片足立ちに一時的に支えが必要。	<input type="radio"/>
2. 要介護 1 (部分的な介護を要する状態)	a. 排泄や食事はだいたい一人でできるが、立ち上りや歩行が不安定。 b. 身のまわりの動作に一時的な見守りが必要で、時々問題行動や理解の低下が見られる。	<input type="radio"/>
3. 要介護 2 (軽度の介護を要する状態)	a. 排泄や入浴に見守りが必要で、立ち上りや歩行が自分一人できない。 b. 身のまわりの動作全般に見守りが必要で、時々問題行動や理解の低下が見られる。	<input type="radio"/>
4. 要介護 3 (中等度の介護を要する状態)	a. 排泄や入浴/立ち上がりや歩行/身のまわりの動作が一人できない。 b. いくつか目立つ問題行動や理解の低下が見られる。	<input type="radio"/>
5. 要介護 4 (重度の介護を要する状態)	a. 排泄や入浴/立ち上りや歩行/身のまわりの動作が自分一人できず、介助が必要。 b. 多くの問題行動や全般的な理解の低下が見られる。	<input type="radio"/>
6. 要介護 5 (最重度の介護を要する状態)	a. 意思の伝達が困難で、多くの問題行動や全般的な理解の低下が見られる。 b. 生活全般に全面的介助が必要。	<input type="radio"/>

F9. 介護を受けている方はかかりつけ医がおりますでしょうか？（単数回答）

1. あり	2. なし
-------	-------

F10. あなたの職業状況についてお教え下さい。（単数回答）

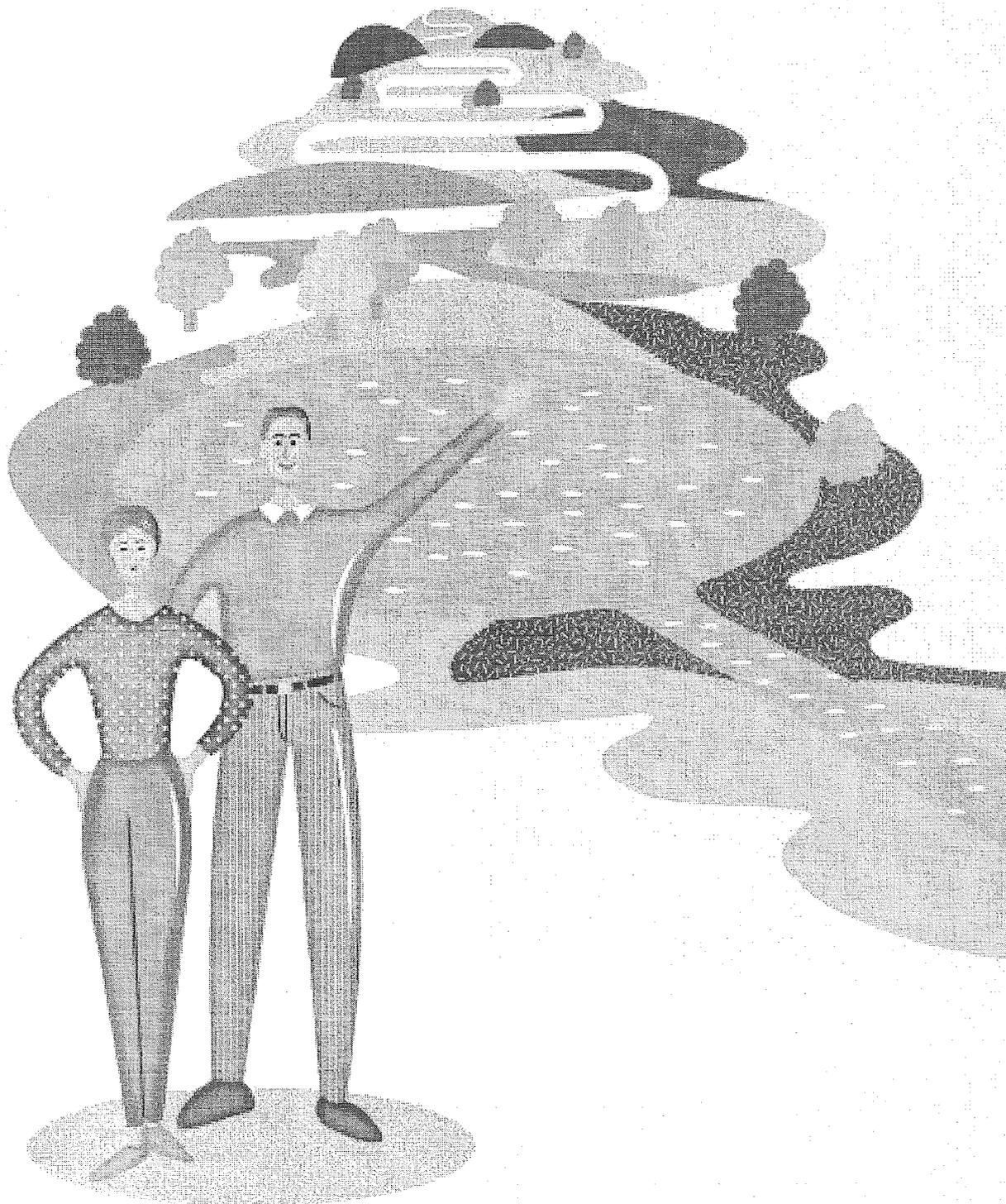
1. フルタイムワーカー（正社員・契約・派遣社員）	3. 週 35 時間未満のパート/アルバイト
2. 週 35 時間以上のパート/アルバイト	4. 仕事（パート/アルバイト含む）はしていない

F11. 介護についてのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

()

快適な排泄をサポートする 排泄ケアマニュアル

制作 名古屋大学排泄情報センター
名古屋大学大学院医学研究科病態外科学講座泌尿器科学



適切な排泄管理がQOLを高めます

排泄障害は、本人のQOL(生活の質)を損ねるばかりでなく、精神的な面でも大きなダメージを与えるものです。また、介護・看護者にとっても日々向き合う必要のある、重要かつ切実な問題です。

排泄状態の把握と、それに適した対応を知ることが、本人・介護者双方のQOLを向上させることにつながります。

さらに、どのような場合に医師、あるいは泌尿器科専門医を受診したらよいかを知ること重要です。

本マニュアルは、介護・看護の専門職の方、あるいは家庭で御家族の介護をされる一般の方を対象に、現場で排尿障害をどのように診断し、現場のレベルでどのように対処すべきか、さらにどのような場合に医師を受診するかを示したものです。

排尿の状態を、1. 排尿日誌により評価し、排尿障害のタイプを、2. 排尿チェック表を用いて診断し、それぞれのタイプに合った排尿ケアを行います。

排便障害についても同様に、排便状態の把握と、それに適した排便ケアを行います。

適切な排泄管理を現場で判断して行うことにより、排泄障害に悩む方、介護に関わる方のQOLを向上させましょう。

Contents

排泄ケアのアルゴリズム／5

排尿日誌の使い方／6

排尿チェック表の使い方／8

腹圧性尿失禁／12

切迫性尿失禁／15

溢流性尿失禁／18

機能性尿失禁／20

排尿出障害／22

排便障害／24

こんな症状に要注意／28

尿道カテーテル留置・清潔間欠(自己)導尿について／29

骨盤底筋訓練について／34

排尿姿勢の工夫／36

おむつ、排尿器具について／38

薬剤について／40

専門的検査について／41

外科的治療について／42

その他の治療法について／44

排尿日誌／45

排尿チェック表／46

排泄ケアのアルゴリズム

